

1. 計画の概要

崖線の緑は自然の地形を残し、かつ市街地の中で区市町村界を越えて連続して存在する緑であり、東京の緑の骨格となっているとともに、崖線下には湧水や稀少植物等の資源があり、都市化が進んだ東京の中で貴重な空間となっています。

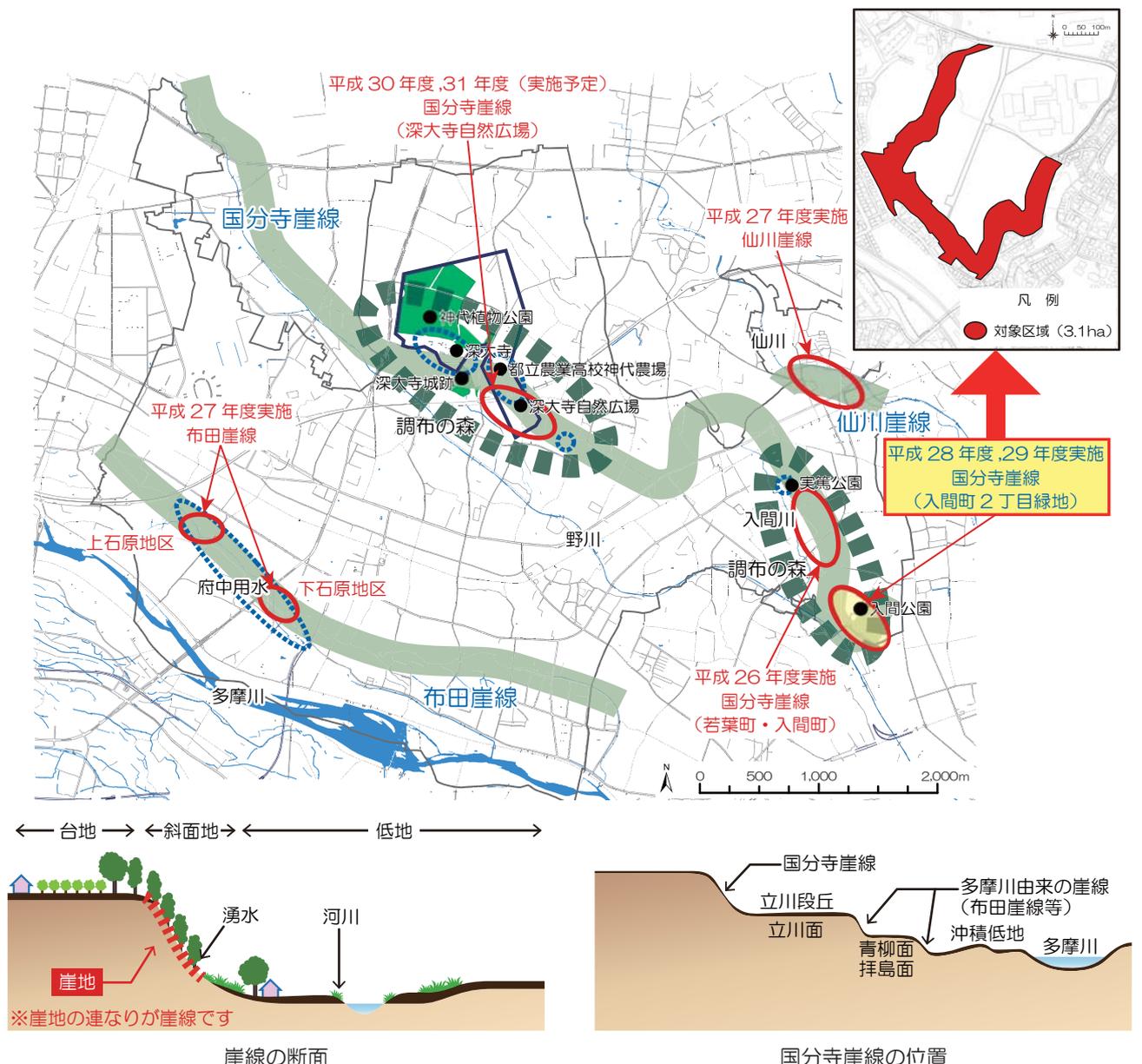
調布市では、基本計画における4つの重点プロジェクトの中のひとつとして「うるおいあるまちづくりプロジェクト」を掲げ、その中の事業として崖線樹林地の保全を掲げています。また、緑の基本計画で緑の将来像「庭園のまち 調布」の実現に向けた基本方針のひとつに「調布らしい多様な緑をまもり、活用する」を掲げています。崖線樹林地をはじめとしたまとまりのある緑は、良好な景観を形成するとともに、生き物の生育・生息環境としても貴重であることから次世代へ引き継ぐべく、その保全・活用を図ることとしています。

以上のことから、国分寺崖線（入間町2丁目緑地）の樹林地の植生や樹木など、緑資源を主対象とした調査と評価を行い、概ね10年後の将来像を見据えた崖線樹林（植生）の保全・管理に関する基本計画を策定することを目的としています。

計画の策定にあたっては、保全活動を行っている市民団体や対象となる崖線樹林地に関係する市民の皆様とも意見交換を行い、専門家のご意見をうかがいながら、保全計画のとりまとめを行っています。

(1) 対象区域の位置

対象区域は、京王線仙川駅から南に約1.6kmに位置し、崖線緑地の一部は、東京都の緑地保全地域に指定されています。
調布市入間町2丁目地内 約31,000㎡



※「多摩川由来の崖線の緑を保全するガイドライン」（平成24年3月、多摩川由来の崖線の緑を保全する協議会）に加筆

(2) 生物調査のまとめ

平成 28 年度から 29 年度にかけて、対象区域で生物調査を実施しました。その結果、植物 407 種類、哺乳類 2 種類、爬虫類 3 種類、鳥類 29 種類、昆虫類 363 種類が確認されました。また、環境省や東京都のレッドデータブックに掲載されている重要種は、26 種類が確認されました。

対象区域の多くが樹林環境であることから、キツツキの仲間であるアオゲラやコゲラ、昆虫類ではカブトムシやコクワガタなど、樹林性の種類が多く確認されました。また林床に生育する、多くの希少な植物も確認することができました。

1) 確認された生物種数

項目	確認数		重要種				
	科数	種類数	科数	種類数	環境省重要種	東京都重要種	種名
植物	107	407	7	12	3	10	アスカイノデ、ウマノスズクサ、イチャクソウ、アマドコロ、アマナ、キツネノカミソリ、ギンラン、 キンラン 、 サガミランモドキ 、ササバギンラン、 マヤラン 、ホンモンジスゲ
哺乳類・爬虫類・両生類	5	5	3	3	0	3	ニホンカナヘビ、アオダイショウ、ニホンヤモリ
鳥類	22	29	6	6	0	6	カワセミ、アオゲラ、モズ、ウグイス、エナガ、センダイムシクイ
昆虫類	127	363	4	5	1	4	アオイトトンボ、ヒグラシ、キマダラミヤマカミキリ、ヘリグロリンゴカミキリ、 モンズズメバチ

※赤字は環境省の重要種を示します。

■確認された主な重要種



アスカイノデ



ウマノスズクサ



イチャクソウ



ギンラン



キンラン



ニホンカナヘビ



ニホンヤモリ



カワセミ



ウグイス



エナガ



キマダラミヤマカミキリ



モンズズメバチ